

# 各テーマの参考資料

- ①産業人材の育成と県内就職の促進
- ②若者が魅力を感じる仕事の創出
- ③地域と若者の交流促進について

# 県内大学等の県内就職率の推移

- 高校生：従前から県内就職率70%前後で推移しているが、少子化や進学率の上昇により、就職者数そのものが減少傾向
- 専門学校生：70%超えの状態で横ばいであるが、高校生と同様に、就職者数は右肩下がり
- 県内大学生等：近年は30%台前半で推移
- 県外大学生（Uターン）：R6.3卒は15.0%で過去最低

	R3年3月卒			R4年3月卒			R5年3月卒			R6年3月卒			R7年3月卒			R9年度 (R10.3卒) KPI
	就職数等	うち県内 就職数等	県内 就職率													
①高校生	991	696	70.2%	859	616	71.7%	770	551	71.6%	785	547	69.7%	789	541	68.6%	75.0%
②専門学校	931	665	71.4%	942	674	71.5%	757	551	72.8%	771	574	74.4%	738	531	72.0%	80.0%
③県内大学生等	1,891	661	35.0%	1,956	667	34.1%	1,852	667	36.0%	1,932	618	32.0%	1,824	601	32.9%	42.0%
④県外大学生 (Uターン)	1,796	346	19.3%	1,925	377	19.6%	1,845	393	21.3%	1,957	293	15.0%				24.0%
①～③うち 医療分野(看護) の状況	527	337	63.9%	548	334	60.9%	489	296	60.5%	472	267	56.6%			調査中	—
①～③うち 福祉分野(主に介 護)の状況	143	94	65.7%	141	91	64.5%	113	76	67.3%	120	66	55.0%				—

# 採用状況

- R6年3月新規大卒者の採用計画があった企業（264社）のうち、1人も採用できなかった企業は37.5%
- そのうち、80.4% (78/97社) の企業は学生から応募がなかった

(上段：社数、下段：%)

全 体	令和6年4月1日～9月30日の新規大学等卒業者の採用人数					
	1人	2人	3～5人	6～10人	11～15人	16人以上
(A) 165件	51件	46件	33件	23件	7件	5件
100.0%	30.9%	27.9%	20.0%	13.9%	4.2%	3.0%

(B)  
(B/A)



平均採用 人数 (人)	合計採用 人数 (人)
4.3	717

出典：R6商工政策課調査  
県内に本社を置く企業  
(従業員4人以上) から  
1,600社を無作為抽出  
(N = 792)

# 令和6年度県民世論調査

- 実家がある以外で高知県に住む理由として、20歳代・30歳代ともに、希望する進学先・仕事があつたことや愛着をあげている
- 20歳代・30歳代ともに、県外への転出を検討している最も大きな理由は、県外の企業の方が給料が高いこと

高知に住み続けている、または高知に帰ってきた理由は？  
(3つまで選択可)

## ○20歳代

実家がある……68.0%

県内に希望する進学先、または仕事があつた……37.3%

生まれ育った高知県に愛着がある……36.0%

## ○30歳代

実家がある……64.6%

生まれ育った高知県に愛着がある……34.9%

県内に希望する進学先、または仕事があつた……27.8%

県外への転出を検討している理由は？  
(3つまで選択可)

## ○20歳代

県外の企業の方が給料が高い……42.9%

県内に希望する分野の仕事がない……37.5%

都会での華やかな生活にあこがれがある……21.4%

## ○30歳代

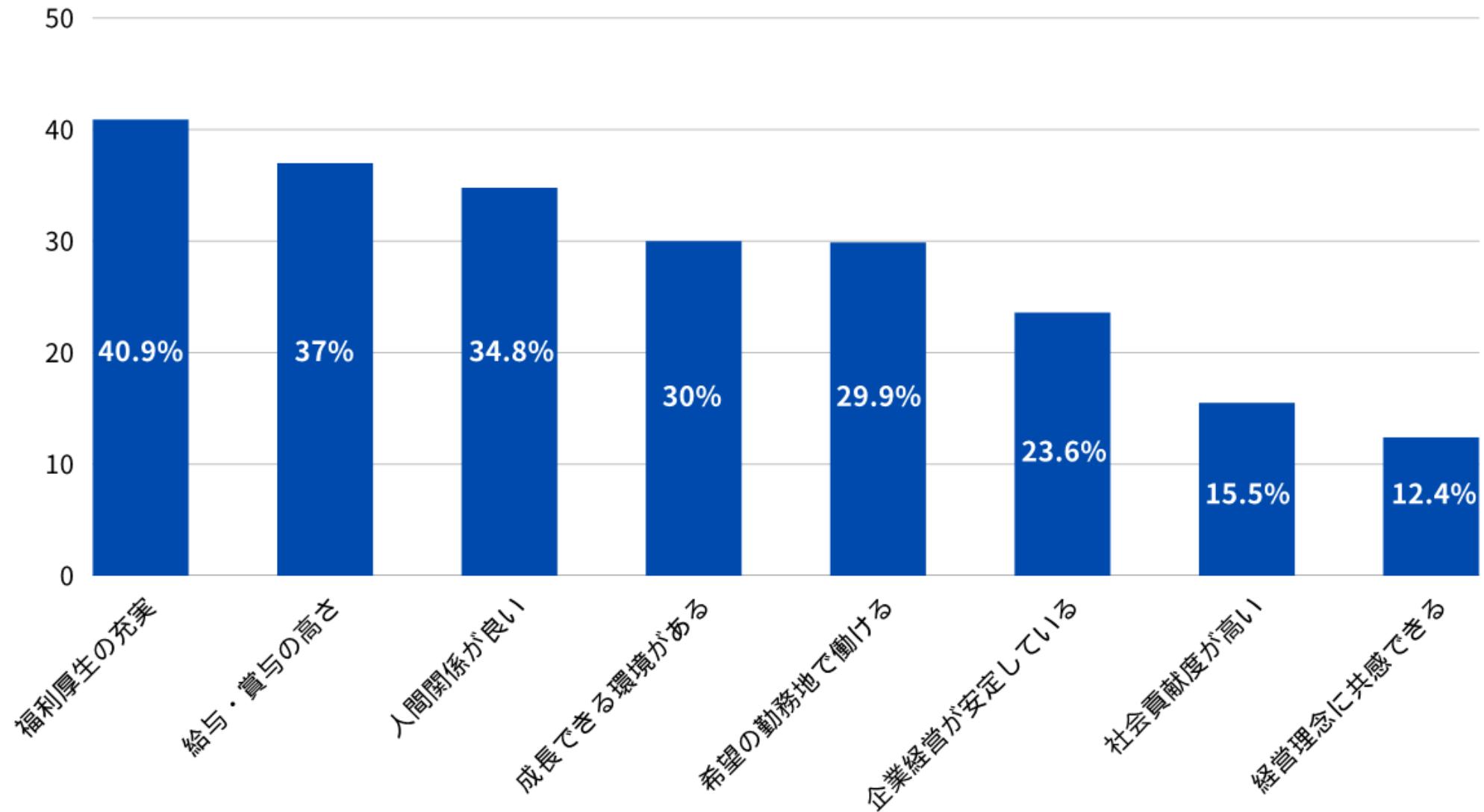
県外の企業の方が給料が高い……35.8%

子どもの教育環境が十分でない……22.6%

県外の企業の方がワークライフバランスが充実している……17.0%

# 学生が企業を選ぶときに注目するポイント

- 福利厚生の充実や給与・賞与の高さを注目するポイントとしてあげる学生が多い
- 一方、人間関係の良さや成長できる環境があることをあげる学生も多い ⇒ 学生にとって魅力的な企業を増やす必要がある



出典：株式会社マイナビ「2025卒学生就職モニター調査 6月の活動状況」

# 中山間地域における関係人口創出プロジェクト

## 1 現状・課題

- 中山間地域では、県全体を上回るスピードで人口減少や高齢化による人手不足が深刻化しており、多くの集落で地域活動の維持や継続が困難になりつつある。
- 一方、都市部には、人とのつながりや自然とふれあう機会が少ないため、田舎ならではの体験をしたい、学びたい方が存在。

### 【国の動向】

- 地方への人の流れの創出・拡大を通じて地域の活性化を図るため、都市と地方に生活拠点を持つ「**二地域居住**」を促進し、『**関係人口**』を拡大。
- 『**関係人口**』を可視化する「**ふるさと住民登録制度**」を創設し、今後10年間で実人数1,000万人、延べ人数1億人を目指す。

(R7.6.13 骨太方針、地方創生2.0基本構想)

- 本県の中山間地域と田舎に関心のある層がつながるきっかけを作り、地域と継続的な関わりを持つ『**関係人口**』を創出する必要。

## 2 事業目的

都市部に居住する田舎に関心のある方々に、中山間地域での集落活動への参加を通じて、**地域の方々との交流**や、**自然、食、歴史、文化といった魅力（高知の田舎「SUPER LOCAL」）を体感**いただくことで、**関係人口を創出**する。

また、**関係人口との関係性を継続**することで、**移住・定住へつなげる**とともに、県内各地域において地域住民を中心に移住者や関係人口などの多様な人材が交流し、人口減少下においても、地域が意欲的に活動する**「にぎやかな過疎」の創出**を図る。

## 3 実施イメージ



高知県移住ポータルサイト「高知家で暮らす。」内に特設ページ『**いこうち！**』を開設し、参加者を募集！  
**伝統芸能への参加も受付！**



## 4 令和7年度の取組予定

- ・6月27日（金）「いこうち！」サイトオープン、参加者の募集開始
- ・7月13日（日）～ プログラム開催  
<36集落活動センター・68プログラムで受入募集 ※R7.6.24時点>
- ・9月～ プロモーション動画を配信  
⇒ Web・SNS配信や、関西アンテナショップ「とさとさ」で放映

## 5 スケジュール・事業目標(KPI)

R7年度	R8年度	R9年度	
<b>KPI</b> プログラム実施数 参加者数	50件 200人	100件 400人	200件 800人

# 出会い促進分科会

## 【概要】

- 「高知県少子化対策推進県民会議」において、出会い・結婚支援のイベント等を企画・実施してきた「若い世代部会」を、「若者応援産学官フォーラム」の「出会い促進分科会」として位置づけて役割を移行（県民会議は発展的解消）
- 「出会い・結婚」に関する議論のほか、若者の声を知事に届ける座談会等を実施し、少子化対策の充実・強化につなげる。

## 【R7年度の取り組み】

- **座談会**：「若者が子育てしたくなるような高知県」をテーマに、UIターン移住者と知事との座談会を実施（10/27予定）
- **異業種交流会**：男女問わず、様々な出会いのきっかけとなる異業種交流会を実施（11/29予定）

## ＜参考：関連する県の取り組み＞

	開始年度	項目	取組内容	R6実績
若者交流	R7	若者交流促進事業 (20~30代独身者限定)	・スポーツ振興や伝統芸能等の県関連イベントへの若者の参加・交流の後押し	(R7予定) ・県の各部局が実施する学び・体験、文化・交流、スポーツ等のイベントが対象（40回程度） ・イベント参加1回あたり1,000円分のデジタルクーポンを配布（延べ3,300人）
友活・恋活	R5	社会人交流事業 (20~30代独身者限定)	・興味関心に応じて集い、ライフプランも学べるハードルの低い出会いイベント	・7市町村、10回開催、延397人参加 ・男性193人、女性204人、20代224人、30代173人 ・連絡先交換率31.7%
婚活(イベント系)	R7	メタバース婚活事業 (20~30代独身者限定)	・メタバースプラットフォームを活用した交流イベント	(R7予定) ・イベント3回開催、定員20人 ・第1回イベント12人参加、交際成立2組
婚活(1×1系)	H26 (H19)	高知で恋しよ!!イベント (民間団体・市町村等)	・イベントでの交流を通じたお相手探し ※H19~市町村イベント補助開始	・アクティブユーザー841人(20代・220人、30代・378人) ・76回開催、1,422人参加、交際成立154組、成婚2組
	H28	高知で恋しよ!!マッチング	・マッチングシステムを活用した1対1の出会い支援	・R7.3末会員数650人(20代・66人、30代・296人) ・お引合せ331件、交際成立数142組、成婚7組
	H22	婚活サポーター ※認知度20.0%	・地域のボランティアと一緒にお相手探し	・R7.3相談者数291人(20代・5人、30代・77人) ・お引合せ件数164件、交際成立数60組、成婚5組